

1 活動方針・重点事項等

- (1) コミュニティ・スクールを生かした地域・関係機関等との連携・協働による探究的な学びを推進する。
- (2) 自ら未来を切り拓く力を伸ばし、社会参画する態度を養うために、「子ども主体の学校づくり」を推進する。
- (3) ICT機器の活用、デジタル・シティズンシップ教育の推進により、教育環境の整備・充実、校務の効率化を図る。

2 活動・取組

- (1) 小学校長連絡会 毎月1回対面での開催
業務用のコミュニケーションアプリを活用して議題調整 役員会で検討
- (2) ブロック小学校長研修会 概ね月1回開催 テーマに基づき研究活動
- (3) 教育課程実施上の工夫の共有 庶務部が調整し各校がデータ入力・共有
- (4) 教育環境等の改善に向けた調査・対策 調査対策部が調整し区教委等と協議
- (5) 自主研修会の開催 研修部が調整し幼・小・中が連携して開催
- (6) 渋谷区立幼稚園・小学校教育研究会の運営
- (7) 宿泊行事、特別支援学級連合行事、区民行事、周年行事等の調整・対策

3 地区の特色

- (1) 「渋谷区くみの広場」で各校の鼓笛隊がパレード行進を実施
毎年11月第1土曜日に「渋谷区くみの広場」において鼓笛隊パレード行進が行われる。各校高学年を中心に鼓笛隊の活動をしており、今年度は区立小学校全18校が参加する予定で、小学校長会でも全員で連携して取り組んでいる。

- (2) シブヤ未来科の取組

令和6年度から、文部科学省の授業時数特例校制度を活用し、第3学年以上で総合的な学習の時間の時数を増やし「シブヤ未来科」として探究的な学びを推進している。児童自身が学びを創ることができるよう、「探究基礎・体験」「共通テーマによる探究」「My探究」とステップアップしていく。その過程では、地域の方々や企業等との連携を図り、児童が問いを立てたり、課題を追究したりする活動が充実するよう各校で工夫している。

小学校長会では、その内容について情報連携を図りながら、各ブロック等でも共に研究を進めている。



企業と連携した学びづくり



地域イベントの運営に参画し学習成果を発表